

第1回 成田市景観まちづくり市民懇談会 会議概要

1 開催日時

平成23年8月18日(木) 午後1時30分～午後3時40分

2 開催場所

成田市花崎町760番地

成田市役所 6階 中会議室

3 出席者 (*職・氏名の記載の順序及び方法は、任意です。)

(委員)

黒田委員、一色委員代理(清宮氏)、山田委員、大木委員、大澤委員、佐久間委員、青木委員、玉井委員、中山委員、鈴木委員、佐々木委員

(事務局)

都市計画課 設楽課長、後藤副主幹、會嶋主査、富澤主査、塚本主査
(コンサルタント)

株式会社LAU公共施設研究所 吉岡部長、牧野主任、仁司技師

4 概要

はじめに事務局より市民懇談会の役割、位置付けを確認した後、景観計画の策定スケジュールについて説明。

つづいて、コンサルタントにより、景観法の概要、成田市の景観の現状等を勉強会形式でスライドを用いて説明。

その後、3班に分かれてワークショップを行った。

ワークショップでは、自宅を地図に示し自己紹介を行いながら、「我がまち成田の良い景観と何とかしたい景観」を地図上に落とし、良い景観、何とかしたい景観についての意見などを付箋に記入しながら確認し、多くの意見を収集した。

最後に、同懇談会の座長、副座長(検討委員会への代表者2名も兼ねる。)の選出を行った。

以下、意見交換された主な質疑応答内容及び決定事項

質疑応答内容

①人口の減少と景観について

(委員) 今後50年後に、急速に人口が減少して約3000万人減の見通しと政府の発表がありました。まだ政府や行政はその事を全然考えていないので、景観行政もそれを踏まえる必要があると思いますがどうお考えでしょうか。

また、人口が減少すると街並みの景観も変わってくると思いますがどうお考えでしょうか。

(コンサルタント) 人口が減るという事は、景観は別にしても働く人が少なくなるなど

社会全体に大きな影響を及ぼすことはあると思います。但し景観の立場からいうと、景観を良くすればその環境が良くなるという事で、人数に限らずそこに人が存在する限りは求める事ではないかと思えます。

少なくとも成田市の人口が減っても、地域に市民の方の住まいや働く場がある限りは、その周辺について今後時間をかけて良好な景観にしていくことは意味があると思います。

②景観計画の区域設定について

(委員) 景観計画では、農業地域、工業地域、住宅地を分けて考えるのでしょうか。

(コンサルタント) 成田市では、市域全てに特徴的な景観があると考えられることから、景観法で定める景観計画区域として市全域を対象と考えています。

③人口の減少（限界集落）による景観への影響について

(委員) 各町内の70歳以上の高齢者は、あと数十年も経てばいなくなり空き家になってしまうと思いますが、これ（限界集落への対応）について今後、行政を含め我々は考えていかなければ虫食い状態の街並みになってしまうと思います。

こうなると景観として非常にまずいと思うので、それも踏まえて今後考えていく必要があると思いますがどうでしょうか。

(コンサルタント) ご指摘のように空き家や農家の耕作放棄地をはじめとした荒地もでてくるので、人口減少の課題は景観にとって大きな課題になると思います。

④景観への取り組み時期について

(委員) 県内の主な自治体では、既に景観条例ができていると思いますが、成田市はこれから3年後に運用施行という事で、全体的にみると遅いのではないのでしょうか。

(コンサルタント) 景観法ができる以前から自主的に景観をやっていた自治体は、そのまま移行するということがありましたので、その場合は早かったと思います。

成田市も景観基本計画を策定したとはいえ、合併後、都市計画マスタープランをはじめとする上位計画をまず策定し、その後に景観計画を策定するという流れを考慮すれば、時間的に他都市と比較してそんなに遅いわけではないと思います。

但し都市にあった新しい仕組みを考えることや、地域の方の意見を聞こうとするとそれなりに時間もかかるので、そこは多少時間を有するという事になります。

⑤市民懇談会の任期について

(委員) 景観計画は 22 年度から始まって 26 年度に完結するというスケジュールとなっていますが、この期間で市民懇談会の任期はいつまでなのでしょう。

(事務局) 市民懇談会の任期は概ね 2 年を予定しています。
懇談会設置要綱第 2 条 4 項で、「委員の任期は、前項の報告を完了するまでとする。」となっており、市の付属機関も一般的に概ね 2 年なので懇談会の任期も 2 年としております。

(委員) 市民懇談会の任期が 2 年ということですが、区長会長の任期が 1 年の地区もあるのでその場合はどうなるのでしょうか。

(事務局) 区長会長については、できるだけその地区の特性について幅広く伺いたいという趣旨から、懇談会委員を充て職としています。区長が変われば、新たな区長会長の方に懇談会委員として参加頂きたいと考えています。
公募委員の方については、そのまま委員を継続していただくという事でお願い致します。



⑥景観（市民懇談会）を立ち上げた目的について

(委員) この市民懇談会を立ち上げたのには、行政の意向があったからだと思いますがその目的をお聞かせ下さい。

(事務局) 市民懇談会は、市内全地域の方からなるべく景観について一般的な意見を伺うことを目的としています。

委員については、市内在住の方で景観に非常に興味を持っている方やそうではない方など色々な方がいる中で、各地区の一般的な意見を頂くため、各地区の区長会長の方、また、地域に縛られない幅広い目線で多様な意見をお持ちの方ということで、公募市民 3 名の方に参加頂いております。

ワークショップでの意見

●第 1 班

(地区の課題)

委員： 道路が狭く、歩行するにも危険な箇所がある。

電柱の地中化も、もっと推進してもらいたい。

そうすれば、道路景観も、歩行者の安全も確保できる。

委員： 田園地帯であるが、騒音下は限界村落のように過疎化が進んでおり、

荒地となりつつあり、管理が課題だ。

中郷小学校の施設を含めた跡地利用が課題であり、いい知恵が欲しい。

委員： 空港に隣接した地区であり、市街化区域でありながら道路が狭い。

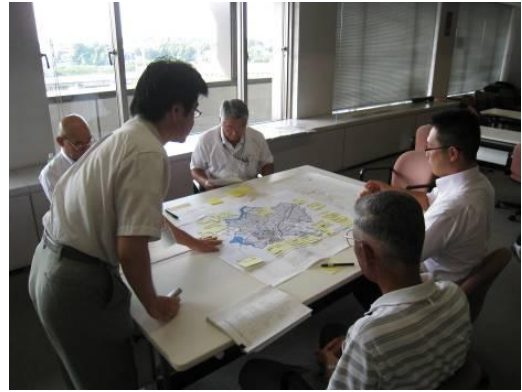
特に、県道の歩道は昔の規格なのか、通学路でもあるのに狭くて危険。

しかし、記念公園のように優れた景観を持つ公園もある。

委員： 里山もあり、いい田園景観がある。

しかし、土地改良がされているにもかかわらず、農業後継者の減少から、限界集落というわけでないが耕作放棄地が増えつつある。

また、人口の減少もある。中郷地区と同様、豊住中学校も統合され、廃校後の施設利用が課題となっている。



(良いところ、大切なもの)

委員： 駅から総門にかけての参道の街並みを大切にしたい。

しかし、店の閉店時間が早すぎる。客が居ないこともあるだろうが・・・。

参道に限らず、周辺を掘り出せばまだ良いものがある。

提案していきたいし、提案してもらいたい。

委員： JR西口駅前や京成東口が成田の玄関の顔とすれば、土屋にももう一つ顔が欲しい。

中郷地区は、騒音下であり集団移転などで過疎化が進み、有効な土地利用もされてないことから荒れた土地が多い。当然、高齢化も有る。また、別の騒音下からの移転者とのコミュニティの取り方も難しいものがある。

委員： 駅前再開発にしても駅前から参道に対して、看板の色彩をはじめ全体の統一感がない。良い街並みをみんなで作ろうという気持ちがある。例えば良いかどうか分からないが、那須にあるコンビニは茶色だったりする。

門前に通じる街並みは良いと思う。

また、空港を持つ成田への観光客の集客や人集めも大切と考える。

空港を否定できるものでもないし、共生して行かなければならないのだから、そのような立地を活かすことを仕掛けなければならない。

例えば、空港の制限区域に入れるツアーとか企画し人を集める。

全国から、美術・劇団などをやっている人たちに、廃校となった施設を活用してもらおうことも良いと思う。

委員： それはいい考えだ。参考にしたい。

景観とはかけ離れているかもしれないが、人が居て風土が出来、景観が出来るのだから、人が居ることは重要だ。

委員： 更に、空港との共生というわけではないが、三里塚地区は街づくりの規格が古いのかしれないが、道路・歩道が狭く危険なので安全な街づくりを考えたい。

委員： 私の地区も騒音下であるが、空港と共生して行くことが大切と思う。
また、中郷地区と同様、人が減ってきており、中学校も統合され廃校となってしまう今後の活用を検討している。

良い考えがあれば持ち帰って検討したいと思う。

委員： 市街化区域・市街化調整区域としてのいい面と悪い面を洗い出して、生活に密着した景観を考えたい。

委員： （私は旧成田市だが）大栄・下総地区については字名を聞いても場所や状況が解らないしイメージが湧かない状況だ。

今後、理解するようにしなければならぬし、それぞれの地域に合った街づくりが必要だ。

●第2班

委員： 私は、成田市では3箇所ほど居住したことがある。

京成駅前の竹林や雑草（つる等）が見苦しいので、何とかしたいといつも思っている。

また、何処というわけではないが、道路、河川等の雑草はきれいにできないかと思う。



根名川のある風景が好き。植栽等による演出をしたらさらに良い。自然に足が出向くような良い手法はないか。

一方、駅前では、再開発ビルの17階というのは、景観に対する影響が大きいと思う。

また、電柱の地中化は景観的に効果が高いと思う。そのために、ブロック等（インターロッキング）で舗装すると、その後の管理も（つぎはぎにならずに）きれいで良いと思う。

委員： ブロックについては、全く同感である。

委員： 私は松崎地区だが、（何とかしたい部分について）全く同感である。
一方、市街地については、（参道のセットバックも電柱地中化も行っているし）もう充分完成した域に達しているのではないか。

もっとそれ以外の地域に目を向けて、同じように重要視して欲しい。

印旛沼周辺は、やはり景観的に保全を望むが、できてしまった鉄道や北千葉道路等は、併せて景観的な特徴にしたら良いと思う。

特に、松崎の浅間池（浅間神社）からの「高速鉄道の走る印旛沼の風景」など素晴らしいので、見る場所を整備したら良いと思う。

委員： 八代からの富士山もきれいだ。見えるところの整備も重要ではないか。（最近では木の枝が邪魔で、折角の景色が見えないところもある。）

事務局： 今日下総地区の区長会長さんが欠席なので、この地区の良い景観を一つだけ紹介したい。

下総地区へ向かう道路沿いの田園風景（特に夕日）が良い。この地域特有の地形で、いつもどこかに出かけて帰ってくると「ほっと」する風景である。

委員： また、（根木名川といえば）親水公園の整備ももっと行っていただきたい。

江川も整備された。

事務局： 根木名川は、押畑に親水公園と堤防沿いにさくら並木を整備しているが、思うように集客は出来ていない。

委員： やはり、作った後の管理も重要ではないか。また、PR等も。

委員： （まちをきれいにするには）市民一人一人が、景観が大事なんだという意識付けが重要だ。

企業などが、積極的に自分の会社の前をきれいにしていることがある。何かうまい市民への意識付けを市でできないか。

委員： 地域ぐるみで活動すると良い。

委員： 地域の特徴を大事にした景観づくりをしてもらいたい。

●第3班

委員： 大室地区の「円通寺」周辺の景色が良いが、その付近の雑木林で手入れがされていない。

また、この辺は、市道以外の荒れた道路が多いので何とかしてほしい。

委員： 道路の管理は行政がしっかりやるべき。

私の住んでいる近くでは、バタ池が良い。隠れた桜の名所である。

私の地区では高齢化が進み既に限界集落になっている。このことはまちづくり中で重要であり、これからは、都市マスと景観計画が整合しなければならない。

委員： 私の地区は、最近北駅が整備されたこともあり地区全般がきれい。

私の地区でも高齢化が進んでいる。影響があるのか今度の成田ニュータウンまつりも当初は20団体位あったのが年々減少傾向。

個人的に赤坂公園内の池はいいと思う。



- 委員： 良い景観（大栄地区）は、やっぱり大慈恩寺周辺。
高齢化については、団地の区画が小さく 2 世帯にならない。息子が外に出て、娘が婿を連れて家を建てる。そうすると段階的に世代が形成されてくる。
- 委員： 下総の宝船公園からの眺望がいい。
- 委員： （事業としては）疑問である。
- 委員： 国道 356 号沿いを桜並木にするといいと思う。
- 委員： 取香川沿いで、NPO 成田の里山を作る会で竹林を伐採して桜を植えている。
- 委員： 景観と云えば、JR 駅前に期待している。
- 委員： 参道のセットバックはどうか。広がりすぎて皆、店の（横の）往来がない。素通りしている。車の出入りがあるのも問題だ。
- 委員： 私は、広くなって安全になって良いと思う。
- 委員： 広げたことで、昼は車が止まる。
その点、仲町は狭くて良い。参道から坂下に行くとき寄せ合った感じで良い。
- 委員： 地区の人がどうするかだ。参道のあり方はその人の意識が変わってきたものだ。
- 委員： 建物の高さを例えば 6 階までに一定に制限するのがいい景観だ。
- 委員： ニュータウンでも建物高さの問題があって、当時、赤坂公園町内会長が要望して、議会でも採択になったことがあった。昨年市から案を提示されたことがあった。
- 委員： 成田山の前に広場ができたが個人的には活気がなくなったようにも感じる。

副市長挨拶

所用で別の会議に出席されていた副市長が、最後に駆けつけ、市民懇談会の設置・開催について挨拶を行う。



決定事項

●座長の選出について

成田地区 黒田昇氏が同懇談会の座長に選出される。

●副座長の選出について

黒田座長の指名により NT 地区 青木偉年氏が同懇談会の副座長に選出される。

連絡事項

- ・次回第 2 回景観まちづくり市民懇談会の日程は、10 月 5 日を予定。

以上